



★2020年男子シングルス優勝  
宇田幸矢

# Flash Eyes

観戦ガイド 1月11日号

天皇杯・皇后杯  
2021年  
全日本卓球選手権大会  
(一般・ジュニアの部)  
【無観客大会】  
2021年1月11日(月)～17日(日)

## 全日本 新超絶決戦

真の日本一を決める『天皇杯・皇后杯 2021年全日本卓球選手権大会 (一般・ジュニアの部)』が、11日(月)いよいよ開幕!

今大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からシングルス4種目のみ、無観客での開催となり、全試合がライブ配信される。

2021 START! 栄光の天皇杯・皇后杯を手にするのは?!

### 【無観客大会】

会場へは来場いただけません。  
試合・結果はWEBでご覧ください。  
土・日はNHKの中継もあります。

#### ◆ ライブ配信 ◆

全試合がライブでご覧いただけます。  
下記アドレスでご確認ください。

#### ●全日本選手権特設サイト

<http://www.japantabletennis.com/zennihon2021/>

「ライブ配信」をクリック

#### ◆ 試合速報 ◆

試合の結果速報は、大会サイトで検索することができます。

#### ●上記特設サイト

「速報・記録」をクリック

#### ◆ NHK中継 ◆

男女シングルス準々決勝～決勝は、NHKBS1・NHK総合で放送されます。

### ■男子シングルス

昨年、接戦を制し見事初優勝を飾った宇田幸矢が第一シード。2位…悔しい結果ながらも3年連続表彰台に立つ最年少優勝記録保持者の張本智和は王座奪還を狙う。その張本に準決勝ゲームオール9で敗れるも大健闘の3位、一昨年は宇田を下してジュニア優勝の戸上隼輔も上を目指す。準々決勝で戸上に苦汁をなめた五輪日本代表丹羽孝希は今回も準々決勝で戸上と当たる組合せ。元王者の意地を見せることができるか。同じく元王者の吉村真晴、今大会最年長ながら2度の優勝経験を持つペンホルダー吉田海偉、昨年3位の吉田雅己、決勝進出経験のある大島祐哉、神巧也、吉村和弘も虎視眈々トップの座を狙う。学生界では龍崎東寅、松山祐季、高見真己、沼村斉弥、木造勇人。高校生では昨年ベスト16の曾根翔、横谷晟、ジュニアチャンピオン吉山僚一らに注目。昨年ジュニア2位、今回中学生となりJOCエリートアカデミーに入校した松島輝空の活躍はいかに?  
年明け早々厳しい環境の中ハイレベルな闘いを勝ち抜くのは果たして…



張本

リベンジなるか。平成28年度王者平野美宇も再び咲きを狙う。昨年3位のカット橋本帆乃香、同じくカットで6年連続ベスト8以上と安定感のある佐藤瞳、2年連続ベスト8の芝田沙季、過去2度表彰台を経験している森さくら、Tリーグで国内外のトップ選手から次々と金星をあげている大学生木村香純、一昨年2位、高校生となり一段とパワーアップした木原美悠、一昨年ジュニアを制し、2年連続ランク入りの高橋生出澤杏佳、昨年のジュニアチャンピオンで高校生となった大藤沙月、ジュニア2位、一般でも2度目の出場でベスト8入りを果たした中学生小塩遥菜らの活躍に期待がかかる。一般3度目出場となる小学6年生張本美和、同じく6年生で今大会女子シングルス最年少となる小塩悠菜からも目が離せない。

### ■ジュニア男子

昨年中3年生で優勝の吉山僚一、決勝で敗退するも高校生5人に勝利し2位となった松島輝空が第一、第二シードを分ける。谷垣佑真、鈴木颯、篠塚大登、道廣晴貴ら高校生、新名亮太、萩原啓至らの中学生も加わり、頂点を目指してしのぎを削る。今大会最年少、2019年バンビ優勝2018年準優勝の小学3年生大野颯真の闘いぶりにも注目したい。

### ■ジュニア女子

昨年王者の大藤沙月を筆頭に横井咲桜、菅澤柚花里、村上宝、赤江夏星、中森帆南の大坂勢がスーパーシード8枠中6枠を占める。一般でも活躍する木原美悠、昨年ジュニア2位、カットの小塩遥菜を交え熾烈な闘いが予想される。高・中生に交わり上位進出が期待される張本美和、独特のグリップで多才なオールラウンドプレーをする小塩悠菜にも注目! 種目最年少は張本梓恩の5年生。

### ■女子シングルス

昨年涙の初優勝を遂げ、今期もTリーグトップ14勝と好調な早田ひなが連覇を目指す。昨年2位に終わるも女子最多14年連続ランク入りの偉業を遂げた石川佳純は歴代3位5度目の優勝なるか。それとも平成29・30年度王者で昨年3位に甘んじた世界ランキング3位伊藤美誠の



石川



★2020年女子シングルス優勝  
早田ひな

## ★男女シングルス タイトル数

### 《男子》

1. 水谷 隼	10回 (5連覇、4連覇含む)
2. 齋藤 清	8回 (4連覇含む)
3. 長谷川信彦	6回 (3連覇含む)
4. 藤井 則和	5回 (4連覇含む)
5. 松下 浩二	4回 (2連覇含む)
5. 偉関 晴光	4回 (2連覇含む)
7. 田中 利明	3回 (3連覇)
7. 河野 満	3回 (3連覇)
7. 高島 規郎	3回 (2連覇含む)

### 《女子》

1. 小山 ちれ	8回 (6連覇含む)
2. 星野 美香	7回 (5連覇含む)
3. 平野早矢香	5回 (3連覇含む)
3. 大関 行江	5回 (2連覇含む)
5. 保原 キヨ	4回 (4連覇)
5. 石川 佳純	4回 (3連覇含む)
7. 松崎キミ代	3回 (2連覇含む)

(※優勝3回以上掲載)

## ☆3冠 タイトル数 (シングルス・ダブルス・混合ダブルス③種目制覇)

### 《男子》

齋藤 清 2回 (S57・58年度)

### 《女子》

伊藤 美誠 2回 (H29・30年度)

山泉 和子 1回 (S35年度)

石川 佳純 1回 (H26年度)

## ☆2冠 タイトル連覇記録 (シングルス・ダブルス②種目制覇)

### 《男子》

齋藤 清 4年連続 (S57年~60年度) [4回] (ダブルspartner: 渡辺 武弘)

水谷 隼 4年連続 (H18年~21年度) [4回] (ダブルspartner: 岸川 聖也)

## ☆ダブルス連覇記録

[通算優勝回数]

### 《男子》

水谷 隼・岸川 聖也 4年連続 (H18年~21年度) [5回] (H23年度)

渡辺 武弘・齋藤 清 4年連続 (S57年~60年度) [4回]

### 《女子》

藤井 寛子・若宮三紗子 4年連続 (H21年~24年度) [4回]

神田絵美子・山下 恵子 4年連続 (S55年~58年度) [4回]

### 《混合》

齋藤 清・細川幸智子 3年連続 (S61年~63年度) [3回]

渡辺 武弘・大野 知子 3年連続 (H2年~4年度) [3回]

森蘭 政崇・伊藤 美誠 3年連続 (H29年度~2020年) [3回]

## ☆シングルス最年少優勝

張本 智和 H29年度 (中2/14歳)

《参考》高校生チャンピオン (10人)

S24年度・田中 良子 S58年度・星野 美香 (高3) S63年度・佐藤 利香 (高2)

H18年度・水谷 隼 (高2) H22年度・石川 佳純 (高3) H23年度・吉村 真晴 (高3)

H24年度・丹羽 孝希 (高3) H28年度・平野 美宇 (高1/16歳) ※女子最年少

H29年度・伊藤 美誠 (高2) (H30年度/高3/連覇) 2020年・宇田 幸矢 (高3)

《ジュニア最年少優勝》 福原 愛 H13年度 (中1)

《参考》男子: H15年度・水谷 隼 (中2) H29年度・張本 智和 (中2)

## ☆シングルス最年長優勝

偉関 晴光 H15年度 41歳 《参考》女子: 小山 ちれ H12年度 36歳

## ☆ダブルス最年少優勝

大柿 柴保(高2)・河野 文江(高1) H4年度

## ★通算勝数と種目出場回数

(現役選手/記録は2020年大会終了時、所属は今大会時現在)

《男子シングルス》				《女子シングルス》			
選手	所属	勝数	回数	選手	所属	勝数	回数
吉田 海偉	東京アート	57	15	石川 佳純	全農	70	16
三田村宗明	リトルキングス	38	22	平野 美宇	日本生命	30	11
丹羽 孝希	スヴェンソン	37	12	伊藤 美誠	スターツ	29	10
松平 賢二	協和キリン	35	16	《以下参考》			
松平 健太	ファースト	34	14	佐藤 瞳	ミキハウス	24	9
大矢 英俊	ファースト	33	16	前田 美優	日本生命	24	12
高木和 卓	東京アート	33	17	早田 ひな	日本生命	19	7
吉村 真晴	愛知ダイハツ	30	12				
齋藤 清	男子最多記録	101	30	伊藤 和子	女子最多記録	100	45

(旧姓: 山泉)

## 2020年 各種目優勝者

### ■ 男子ダブルス ■



三部航平/及川瑞基組

### ■ 女子ダブルス ■



伊藤美誠/早田ひな 組 (3連覇)

### ■ 混合ダブルス ■



伊藤美誠/森蘭政崇 組 (3連覇)

### ■ ジュニア ■



吉山僚一・大藤沙月

## ★2020年ランカー 過去10年間の成績推移

(所属は2021年大会時)

《男子シングルス》			H22	23	24	25	26	27	28	29	30	2020
宇田 幸矢	明治大学	東京	—	—	—	1回戦	1回戦	64	32	64	16	①
張本 智和	木下グループ	神奈川	—	—	—	—	1回戦	64	64	①	4	2
戸上 隼輔	明治大学	東京	—	—	—	—	—	2回戦	1回戦	32	32	4
吉田 雅己	栃木県スポーツ協会	栃木	32	32	16	8	8	32	32	16	16	4
吉村 和弘	東京アート	東京	—	—	32	64	32	2回戦	2	64	64	8
神 巧也	T.T彩たま	埼玉	64	64	64	64	2	64	8	8	32	8
丹羽 孝希	スヴェンソン	東京	8	8	①	16	4	8	16	32	8	8
吉村 真晴	愛知ダイハツ	茨城	32	①	16	32	8	4	16	32	8	8
大島 祐哉	木下グループ	京都	3回戦	64	32	16	16	32	64	8	2	16
曾根 翔	愛工大名電高校	愛知	—	—	—	—	—	—	—	64	64	16
及川 瑞基	木下グループ	鹿児島	—	2回戦	—	16	32	32	32	32	32	16
吉田 海偉	東京アート	東京	4	16	32	4	8	キ	4	64	64	16
龍崎 東寅	明治大学	東京	—	1回戦	2回戦	64	64	64	8	16	16	16
横谷 晟	愛工大名電高校	愛知	—	—	—	—	—	—	—	—	—	16
松山 祐季	愛知工業大学	愛知	—	—	—	—	64	64	64	32	64	16
町 飛鳥	鹿児島県体育協会	鹿児島	32	32	64	2	64	16	32	64	8	16

(参考) ① 水谷 隼 ① 水谷 隼 ① 水谷 隼 ① 水谷 隼 ① 水谷 隼 ① 水谷 隼

《女子シングルス》			H22	23	24	25	26	27	28	29	30	2020
早田 ひな	日本生命	福岡	—	—	—	64	64	8	32	16	4	①
石川 佳純	全農	山口	①	2	2	①	①	①	2	4	16	2
伊藤 美誠	スターツ	大阪	2回戦	3回戦	2回戦	32	8	4	32	①	①	4
橋本帆乃香	ミキハウス	大阪	—	2回戦	32	3回戦	64	3回戦	4	16	16	4
芝田 沙季	ミキハウス	大阪	—	1回戦	2回戦	16	32	64	16	16	8	8
木原 美悠	JOCエリートアカデミー/星槎	東京	—	—	—	—	—	3回戦	2回戦	32	2	8
佐藤 瞳	ミキハウス	大阪	2回戦	—	3回戦	64	8	8	4	8	8	8
小塩 遥菜	JOCエリートアカデミー	神奈川	—	—	—	—	—	—	—	—	2回戦	8
安藤みなみ	十六銀行	岐阜	—	—	—	64	64	3回戦	16	16	8	16
前田 美優	日本生命	大阪	3回戦	16	64	3回戦	4	32	16	16	32	16
加藤 知秋	十六銀行	岐阜	1回戦	3回戦	—	64	2回戦	—	3回戦	64	64	16
庄司 有貴	中国電力	広島	—	—	—	2回戦	3回戦	3回戦	2回戦	64	64	16
田中 千秋	豊田自動織機	愛知	—	2回戦	2回戦	2回戦	2回戦	2回戦	64	1回戦	16	16
出澤 杏佳	大成女子高校	茨城	—	—	—	—	—	—	—	3回戦	16	16
森 さくら	日本生命	大阪	1回戦	2回戦	16	2	64	32	32	8	4	16
加藤 美優	日本エリートアカデミー	鹿児島	2回戦	32	16	16	16	32	32	32	8	16

(参考) ① 福原 愛 ① 福原 愛 ① 平野美宇

## ★連続ランク入り記録

男子: 松下 浩二 史上最多19年連続 (S62~H17年度) 女子: 石川 佳純 女子最多14年連続 (H18年度~2020年)